

testo 350 J ポータブル燃焼排ガス分析計 取扱説明書 (追加)

株式会社 テストー

本書は、環境測定モデル testo 350J の testo 350 標準モデルと異なる仕様等について、testo 350 取扱説明書の追加となります。

■ 環境測定モデル testo 350J (0632 3510 70, 0632 3510 71, 0632 3510 72, 0632 3510 73, 0632 3510 74) 仕様

	O2	NO	NO2
型番	0393 0000	0393 0150 50	0393 0200 50
測定原理	ガルバニ電池方式	定電位電解法	定電位電解法
測定範囲	0～25 Vol.%	0～2,500 ppm	0～300 ppm
精度	±0.2 Vol.%	±5 ppm (0～129 ppm) ±4 %rdg. (130～1,999 ppm) ±10%rdg. (2,000～2,500 ppm)	±5 ppm (0～129 ppm) ±4%rdg. (130～300 ppm)
分解能	0.01 Vol.%	1 ppm	0.1 ppm
適合規格	JIS B7983	JIS B 7982 附属書 1	JIS B 7982 附属書 1

	SO2	CO2	CO (H2 補償付)
型番	0393 0250 50	0390 0400 50	opt-CO-H2
測定原理	定電位電解法	赤外線吸収式	定電位電解法
測定範囲	0～2,000 ppm	0～25 Vol.%	0～10,000 ppm
精度	±5 ppm (0～129 ppm) ±4%rdg. (130～2,000ppm)	±0.3 Vol.% ±1%rdg.	±10 ppm (0～199 ppm) ±5%rdg. (200～2,000ppm) ±10%rdg. (2,001～10,000ppm)
分解能	1 ppm	10 ppm	1 ppm
適合規格	JIS B 7981 附属書 1	JIS B 7986 附属書 1	JIS 未適合

■ 設置場所

直射日光を避け、振動や電磁誘導障害のない場所で、温度 -5～45 [°C]、相対湿度 5～95 [%]、気圧 600～1100 [hPa]の環境に設置してご使用ください。

尚、内蔵ポンプで吸引した煙道排ガスを testo 350J 燃焼ガス分析計本体側面より排出しますので、必ず換気の良い場所でご使用ください。閉所で使用する場合は、専用ホースを用いて屋外へ煙道排ガスを排出させてください。

■ 試料ガス

試料ガスは、以下の水分、ダストの制限内において測定ください。

試料ガス 露点： 70 °C以下

試料ガス ダスト： 20 g/m³以下

■ 試料ガスの前処理方法

電子クーラーにより試料ガスを 2～5°Cに冷却し、試料ガス中の水分を凝縮させてドレンタンクに排出します。

■ 暖気時間

暖機時間は必要なく、電源投入後 30 秒間のセンサ ゼロ調整実行後、測定ができます。

設置場所と温度差のある場所から持ち込んだ場合は、testo 350J 本体の温度が設置環境温度に馴染ませてから、電源投入することをお奨めします。

■測定停止時の処置

測定停止・終了時は、P103/104 のリンス時間を参照の上、リンスを行ったあと電源オフを行なってください。

■交換用 JIS 版センサ

0393 0150 50 NO センサ

0393 0200 50 NO₂ センサ

0393 0250 50 SO₂ センサ

0390 0400 50 CO₂ センサ

その他のスペアセンサについては、標準の testo 350 と同じになります。

2015 年 3 月改訂